

野崎学長 新年あいさつ 2面

創立25周年 飛躍の年に!

上越教育大学と連携協定を締結 8面

日本経営学会・本学で初開催 3面

日中友好青年訪中団ツアー参加 8面

平成31年度一般入試日程の概要とポイント 7面

PHOTO:「冬の使者」
情報システム学科 4年 穂苅 周平

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

2・3面

湧源・編集後記に代えて
新潟↔ベトナム交流の翼
学長 使節団に参加

国際関係事業講演会
「日米の安全政策」

4・5面

本学と市・地元団体が連携
新潟砂丘遊々会
国際理解講演会「日本建築再考」

キャンパスからの提言フォーラム優秀賞

糸魚川復興マルシェ
うまさぎっしり・新潟食の大商談会
国際交流フェア 高校生英語スピーチコンテスト
ロボ活 in NIIGATA

国際学部スタッフセミナー

企業懇談会292社参加
平成31年度一般入試
教員の活動

8面

にいがたデジコングランプリ奨励賞



NUISホームページ
<https://www.nu.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
@nuis-line3111
LINEの「友だち追加」から
「ID検索」で登録



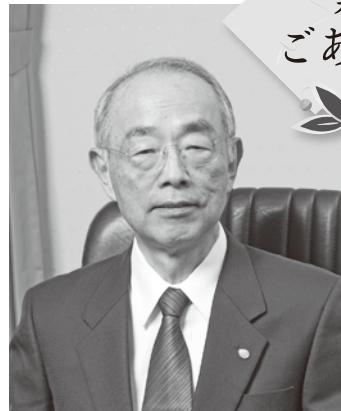
Twitter
@nuis_nabbit



YouTube
公式
チャンネル

創立25周年 飛躍の年に!

新年
あいさつ



学長 野崎 茂

学生の皆さん、教職員、ご父母の皆さん
ま明けましておめでとうございます。
清々しい気持ちで新たな年を迎える
こととお慶び申し上げます。

昨年4月私
たちは国際学
部の下に国際
文化学科、經
営情報学部の
下に経営学科と情報システム学科とい
う2学部3学科の新しい体制をスタートさ
せました。この改編は「国際化、情報化
が進む現代社会において、環日本海地域
の協力、「弥彦村土曜学習」への参加、
「糸魚川復興マルシェ」への協力、また
新潟市内では本学学生と高校生がICT
を活用し地域の活性化を目指すハイブリ
ットまちあるき「にいがたクエスト」の
企画・運営やみづき野地域での赤塚・佐
潟地図研究会への協力とその成果物とし
ての「赤塚ガイドブック」「まち歩き&砂
丘歩き」「作成等々の各種プロジェクト
について、ボランティア・ベースで積極
的につながり、これまでの道のりを
現すとしたらこれまでの道のりを
想い起させるような簡単なモニュメント
であります。現在大学ではこれを記念して
の事業企画を思案中です。何か形のある
もので現すとしたらこれまでの道のりを
迎えます。今年はひとつの突進して見ませんか。そう、
今年は「猪」年ですから。

昨年4月私
たちは国際学
部の下に国際
文化学科、經
営情報学部の
下に経営学科と情報システム学科とい
う2学部3学科の新しい体制をスタートさ
せました。この改編は「国際化、情報化
が進む現代社会において、環日本海地域
の協力、「弥彦村土曜学習」への参加、
「糸魚川復興マルシェ」への協力、また
新潟市内では本学学生と高校生がICT
を活用し地域の活性化を目指すハイブリ
ットまちあるき「にいがたクエスト」の
企画・運営やみづき野地域での赤塚・佐
潟地図研究会への協力とその成果物とし
ての「赤塚ガイドブック」「まち歩き&砂
丘歩き」「作成等々の各種プロジェクト
について、ボランティア・ベースで積極
的につながり、これまでの道のりを
現すとしたらこれまでの道のりを
想い起せるような簡単なモニュメント
であります。現在大学ではこれを記念して
の事業企画を思案中です。何か形のある
もので現すとしたらこれまでの道のりを
迎えます。今年はひとつの突進して見ませんか。そう、
今年は「猪」年ですから。

地域貢献の拠点化を目指す 社会連携センター設立へ

学生の皆さん、教職員、ご父母の皆さん
ま明けましておめでとうございます。
清々しい気持ちで新たな年を迎える
こととお慶び申し上げます。

昨年4月私
たちは国際学
部の下に国際
文化学科、經
営情報学部の
下に経営学科と情報システム学科とい
う2学部3学科の新しい体制をスタートさ
せました。この改編は「国際化、情報化
が進む現代社会において、環日本海地域
の協力、「弥彦村土曜学習」への参加、
「糸魚川復興マルシェ」への協力、また
新潟市内では本学学生と高校生がICT
を活用し地域の活性化を目指すハイブリ
ットまちあるき「にいがたクエスト」の
企画・運営やみづき野地域での赤塚・佐
潟地図研究会への協力とその成果物とし
ての「赤塚ガイドブック」「まち歩き&砂
丘歩き」「作成等々の各種プロジェクト
について、ボランティア・ベースで積極
的につながり、これまでの道のりを
現すとしたらこれまでの道のりを
想い起せるような簡単なモニュメント
であります。現在大学ではこれを記念して
の事業企画を思案中です。何か形のある
もので現すとしたらこれまでの道のりを
迎えます。今年はひとつの突進して見ませんか。そう、
今年は「猪」年ですから。

皆さまご案内のとおり、大学には知的
創造を担い教育・研究を通じて社会全体
の共通基盤を形成するという大きな使命
が課せられると共に、最近はその公共的
役割的重要性という観点から「大学によ
る社会貢献」が求められるようになって
参りました。本学では早い段階からその

トづくり、あるいは記念講演会なども考
えられるでしょう。前述の「建学の理念」
を分かり易い言葉で簡潔に表してみる、
つまり大学の特徴や性格を表すキャッチ
コピーを作つてみるということも考えら
れます。そうしたことは若い学生の皆さん
の鋭敏な感性が得意な分野かも知れま
せん。いろいろなアイデアの提供も含
め皆さまの積極的なご支援、ご協力を
宜しくお願い申し上げます。

そのうえで、こうした活動を大学とし
てもう少し組織的に内外の関係者と連携
し幅広く進めて行くことを考えるべきで
はないかという観点から、本年4月に本
学新潟中央キャンパスに「社会連携セン
ター」という組織を立ち上げることとし
ております。これまで新潟中央キャン
パスでは「エクステンションセンター」
という組織名称の下、生涯学習活動とし
て公開講座などの各種事業に取組んでき
たところですが、この衣替えによ
り地域や産業界、経済界との連携を一層
充実させて行きたいと考えているところ
であります。

そのため

に、この面で
も皆さまから
様々なアイデ
アをお寄せ
いただき、そ
して積極的な
ご支援やご協

力をいただきたいと思つております。

このように本年は創立25周年という
一つの区切りを迎える訳ですが、その記念
事業としてはどちらかというと「ソフト」
面を見直していくことで、本学の内面を
充実させていくことに主眼を置くことに
なると思います。何とぞ宜しくご協力の
ほどをお願い致します。

さあ、今年も挑戦すべき課題がこのほ
かにも目白押しです。課題解決に向けて
一歩一歩前進して行きましょう。いや、
今年はひとつ突進して見ませんか。そう、
今年は「猪」年ですから。

入学試験とは若干異なるが、大学には
定期試験という一種の選抜の仕組みがあ
る。定期試験でも、学生に色を付けたり
(得点)、選別(合否)をしなければな
らない。正直、好きではない。しかし、
定期試験で学生に与える評価は、「よく
勉強したね」、「もう少し努力が必要だ
ね」、「このままではまずいよ。再度挑
戦しなさい」とう学生に対するフィード
バックであるという思いで採点を行つて
いる。「フィードバック」は「教える」
と同じくらい重要な教員の仕事であると
思う。これは避けては通れない。

ところで、入学試験で毎年、筆記具、
時計、果ては受験票を忘れる学生がい
る。一体何をしに来ているのかと不思議
に思う。生徒諸君、これらを忘れてきて
も受験の得点に直接影響はしないが、き
ちんと準備をしてことに臨むということ
は、今後の人生の極めて重要なスキルで
あるということを肝に銘じて欲しい。
文末ではあるが、頑張れ受験生!!為せ
ば成る、である。

湧源
入試・広報委員長 西山 茂

編集後記に代えて



日本経営学会 本学で初開催

会 本学で 初開催

翔委員を中心に学生13名を加えた体制で大会の運営にあたりました。全国から400名を越える会員が参加され、統一論題や各セッションでは積極的な議論がかわされました。

特別講演では、「新潟企業の力－地域との共存とグローバル展開」と題し

さい大学での開催でした。経営情報学部経営学科のスタートの年に年次大会を担当させて頂いた縁を今後の経営情報学部の充実、発展につないでいきた
いと考えています。

全国から400人超が参加

日本経営学会第92回大会が、新潟国際情報大学（新潟中央キャンパス＆AN Aクラウンプラザホテル新潟）を会場として昨年9月5日から4日間にわたり開催されました。近隣大学の会員で、桐子大会事務局長、阿部聰委員、土田

で、4人の県内企業のトップから、企業の力や地域性、海外との関わりを中心に、各社の経営戦略、最前線の取り組みについてご講演を頂きました。

日本経営学会は大正15年発足の歴史ある学会ですが、本州日本海側での年次大会は初めてで、また最も規模の小

新潟 ⇄ ベトナム交流の翼

学長 使節団に参加



ハイフォン公立大関係者と意見交換する 野崎学長(右側中央)

産官学連携の実行委員会が主催する「新潟↔ベトナム交流の翼」使節団の一員として本学の野崎茂学長が、昨年10月17日から5日間、ベトナムの2都市を訪問しました。ハイフオンでは市長、ハイフオン公立大学を表敬訪問。ハノイでは日系企業を視察し、交流イベントに参加しました。

ハイフォン公立大學は北部の港湾都市に位置し、約12000人の学生が学んでいます。「IT」や「経済」など本学と共通の学部を有し、高まるニーズに応えるため、日本語教育の拡充を強く望んでいます。

国際関係事業講演会

ジェシカ・バー口一氏(米外交官)

「日米の安全政策」を語る

昨年9月27日、新潟市
中央キャンパス講堂において
米国大使館政治部安全委員会

講演するジエシカ・バー口一氏

シカ・バーロー氏による「日本とアメリカの安全政策について」と題する講演会が開催されました。ほぼ満員の聴衆に対し、同氏は現在の日米関係における諸事象について多面的な観点から説明されました。現役外交官のこうした発言に対する慣例として、具体的な内容をここでお伝えすることを避けますが、現在の日米関係を考えるうえで非常に重要な視点を提供していました。聴衆からの質疑も具体的な論点に関するものばかりで、質連するものばかりで、質問に対するバーロー氏の返答も真摯かつ興味深いものでした。それらの意見交換もとても真剣なものとなっていました。

また講演の終了後、バーロー氏は本学学生と直接歓談する時間を設け、個々の質問にも時間をかけて答えていました。学生にとっては米国への留学関連以外にも多くの貴重なアドバイスを得る機会となつたと思います。

詩詞舞譜卷之二



本学と市・地元団体が連携

新潟砂丘や佐潟が赤塚の人々の生活とどのように結びついているのかを学び、楽しむことを目的として、昨年6月に赤塚郷土研究会、赤塚・佐潟歴史ガイド、赤塚・中原邸保存会、佐潟と歩む赤塚の会の代表・会員及び本学の教員、学生を会員とする新潟砂丘遊々会を立上

砂丘研究活かしてウォーキングシンポジウムで勉強会

げ、新潟市『水と土の芸術祭2018』の市民プロジェクトに参加しました。新潟市西区役所と地元の団体で作成した『赤塚ガイドブック～まち歩き&砂丘歩き～』を活用し、赤塚の良さを発見し

発信するため、砂丘ウォーキングルートの清掃、見晴らしの丘展望台への東屋設置、砂丘ウォーキングの実施、シンポジウム及びワークショッ

プを開催しました。シンポジウムでは、本学国際文化学科の澤口晋一教授から新潟砂丘に関する最新の研究成果を皮切りに、日本フットパス協会理事の神谷由紀子氏及び路地連新潟・代表の野内隆裕氏による講演がありました。その後、地元団体の代表によるパネルディスカッションが行されました。

(新潟砂丘遊々会 事務局 小林満男 情報システム学科 教授)

社会問題の解決策を提案して、よりよい新潟市の実現に貢献するため、昨年8月26日新潟市役所で開催された市主催の「キャンパスからの提言フォーラム」に参加しました。私は新潟県立大学の参加者と共同で

は就活が堅苦しいこと、わずかな時間の面接で落とされることにストレスを感じ、企業側には、求める人材と受験する学生の不一致にストレスがあることが分かりました。

この調査結果から、バーベキュー

田中祐多さん(情報システム学科)が優秀賞

キヤンパスからの提言フォーラム



日台交流への思いを語る邱明民氏

催しました。

日本では維持できなかった古民家を、台湾に移築し維持することがなぜ可能なのか。ただ保存するだけで

なぜ日本の古民家が台湾に移築できたのか

昨年11月17日、財團法人大河文化基金理事長・邱明民氏による「日本建築再考」をテーマとした国際理解講演会を新潟中央キャンパスで開催されました。

来場者からは「先生の意欲にて感動した。現地に行ってみたい」「新潟でも古民家の魅力を再興できるよう頑張りたい」「日台交流のた

「ジユーラ」で就職ストレス解消を提案

「就活頑張り隊」を結成し、若者の「就活ストレス」を解消する取り組みの提案を目指しました。

若者が就活のどこにストレスを感じているのか、そして企業のストレスは何なのかを把握するためにアンケート調査を実施。その結果、若者生側からのアドバイスを求めたいと



プレゼンする筆者(左端)

(情報システム学科
4年 田中祐多)

のお言葉をいただいたので、今後も積極的に関わっていきたいと思います。

（情報システム学科
経営学科 准教授
小宮山智志）

企業懇談会に292社参加

企業、団体の採用担当者らと本学教職員が情報交換する平成30年度「企業懇談会」が昨年11月21日、ANAクラウンプラザホテル新潟で開かれ、22回目の今年度は292社から461人が参加しました。

冒頭のあいさつで野崎茂学長は「来年創立



活発な情報交換が行われた懇親会

懇親会では藤瀬武彦
キャリア支援委員長
(情報システム学科教授)が本学の就職概況を説明し、星野元理事長が参加企業にさらなる支援を要請しました。このあと人事担当者と教職員は、採用計画や卒業生の近況を話し合い、懇親を深めました。

懇親会では藤瀬武彦
キャリア支援委員長
(情報システム学科教授)が本学の就職概況を説明し、星野元理事長が参加企業にさらなる支援を要請しました。このあと人事担当者と教職員は、採用計画や卒業生の近況を話

就職・採用情報を交換 さらなる支援を要請

25周年を迎える6000人を超えた卒業生が皆様の企業で活躍しております」とお礼の言葉を述べました。

講演会では、ピアニスト辻井伸行氏の母親

の辻井いつ子さんが「明るく、楽しく、あきらめない生き方」と題して講演し、「前例がないから無理」と

周囲の言葉に負けず、チャンスに前向きに取り組んで」と語り、仕事にも活かせる大事な姿勢を学ぶことができました。

すべてインターネット登録を利用した出願です

入試のポイント

一般入試 (前期・後期)で 第3志願制を導入!!

第1志望の学部・学科が合格にならなかった場合には第3志望までの学部・学科で合否判定を行います。

一般入試 (前期)で 学費給付 奨学生を採用!!

一般入試(前期)の試験結果から、成績上位者に、半期授業料の半額を給付します。奨学生試験を受ける必要も、事前に申請する必要もありません。※毎学期終了時ごとに審査あります。

給付額	給付対象			
	国際学部	国際文化学科	上位3名	
半期 授業料の 半額	経営情報 学部	上位3名	情報システム学科	上位2名

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

上西園 武良(情報システム学科・教授)

- (2018年9月) "Reducing the Pulling Force on Plastic Bag Rolls", Proceedings of the 20th Congress of the International Ergonomics Association (IEA2018), vol.7 (24-32)

白井 健二(経営学科・教授)

- (2018年10月) "Characteristic similarity of production key elements greatly affecting profit of a productive business", International Journal of Innovative Computing, Information and Control Vol.14 No.5 (1929-1946)

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

- (2018年11月) 「中国本土・台湾の漢族に関する一九九〇年代以降の親族研究:女性に着目した新たな動き」『社会人類学年報』No.44 (131-146頁)

2) 学会・研究会・講演等

内田 亨(経営学科・教授)

- (2018年9月9日) Remy Magnier-Watanabe "Organizational Virtuousness, Happiness, and Job Performance among French and Japanese Employees: A Structural Model" 国際戦略経営研究会第11回年次大会(国立大学法人電気通信大学)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2018年10月6日~7日) 「丸山真男對中國現代性的看法」国際学会『東亞儒學與中國現代性』(台灣清華大学)
- (2018年10月8日) 「獨立自尊與他者感覺-日本近代的最佳思想」東亜学講演(台灣師範大學東亞系)
- (2018年10月9日) 「福澤諭吉與丸山真男的思想傳承」日本思想史講演(台灣大學國發所)
- (2018年10月10日) 「丸山真男思想史學的軌跡」日本思想史学講演(台灣中央研究院)

越智 敏夫(国際文化学科・教授)

- (2018年9月9日) 「いかがわしい文化と、文化のいかがわしさについて」新潟市美術館シリーズ・レクチャー『美術と世の中、とか外』(新潟市美術館)

神長 英輔(国際文化学科・准教授)

- (2018年10月5日) 「ロシア極東と一带一路」ワンアジア財團・寄付講座『アジア共同体の形成と一带一路』(東京大学・教養学部)
- (2018年10月27日) 「黒船はロシアから 越後人と北洋漁業の発展」新潟開港150周年記念講演会『開港150周年にいたがたの黎明』(新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)
- (2018年11月4日) 「近代東北アジア諸地域におけるコンブ漁業の比較研究」中央大学政策文化研究所主催(公益財團法人 JFE21世紀財團後援)シンポジウム『アジア文明の21世紀的意義その再評価のための基礎研究』(中央大学・駿河台記念館)

上西園 武良(情報システム学科・教授)

- (2018年10月20日) 井上智栄美(本学4年) 「キーボードの誤タピング低減に関する研究(第7報: アイソレーション型の効果確認)」日本人間工学会東海支部2018年研究大会(三重大学)
- (2018年10月20日) 金澤謙(本学4年) 「トングの使い易さ向上に関する研究」日本人間工学会東海支部2018年研究大会(三重大学)

小宮山 智志(経営学科・准教授)

- (2018年9月29日) 「支え合いの気持ちを持ち寄ろう」西区『支え合いのしくみづくり』研修会(黒崎市民会館ホール)

佐藤 泰子(国際文化学科・英語講師)

- (2018年9月12日~13日) "The Case Study of MOOCs for College Students in Japan" International University carnival on E-learning International University carnival on E-learning INTERNATIONAL LEARNING, TEACHING AND TECHNOLOGY CONFERENCE (ILTEC) 2018 (International Islamic University Malaysia)

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

- (2018年10月19日) 司会: コメンテーター(英語): Prof. Mei-Ling Chien "Life Historical Narrations and the Framing of the Subjectivity and Identity of the Rural Immigrants in East Guizhou (1930-2010)" 京都大学東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「中国と東南アジアにおける政治経済の変容と性の移動」第2回研究会議(京都大学)

瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)

- (2018年9月15日) 「内陸国ラオスにおける戦争と戦後 - 地域住民の経験を中心に -」異文化塾『変貌する東南アジア世界』(新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)

